

10/5(月)～10/11(日)の行事

報道発表資料の配付日時 9月30日(水)

発表項目 (行事名)	道産トドマツ製品の展示イベント「Todo Fir」について（開催地東京）		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時) 月 日() 時 分～	発表者	
		発表場所	
概 要	<p>北海道で森林資源として成熟期を迎えたトドマツの良さを感じていただくための家具や建材等を丸の内ハウスで展示します。</p> <p>詳細は次のとおりで、より多くの方に道産トドマツの良さを感じていただくための各種イベントや、トドマツの家具、雑貨、建材などを展示します。</p> <p>また、展示品の中にはトドマツの欠点を克服するため、林産試験場で開発した成果品も含まれています。</p> <p>1 開催内容</p> <p>名 称 Todo Fir（トドマツ）</p> <p>テーマ 北海道の森林にもっとも多く生育する“トドマツ” そんな北の木に触れる1週間</p> <p>会 期 10月5日(月)から11日(日)（11時から17時）</p> <p>会 場 丸の内ハウス ライブラリースペース (東京都千代田区丸の内 1-5-1 新丸ビル7階)</p> <p>主 催 上川地域水平連携協議会 (会員：(株)いさみや、(株)芦野組、(株)斉藤工業所、(株)山田木工場、 三橋農産(株)、麻生木材工業(株)、(株)カワムラ 事業推進アドバイザー：(株)ハギヤ)</p> <p>後 援 道総研林産試験場</p> <p>2 展示内容</p> <p>(1)森林の中のトドマツ</p> <ul style="list-style-type: none"> トドマツアロマの展示 トドマツ枝葉を下げた藤棚 <p>(2)材としてのトドマツ</p> <ul style="list-style-type: none"> 床、壁、建具の施工見本 トドマツの家具（イス・テーブル）等 <p>(3)針葉樹による癒し</p> <ul style="list-style-type: none"> トドマツ成長見本苗木（鉢植えによる展示） トドマツの枝葉を敷き詰めたアロマスペース 		
参 考			

報道(取材) に当たって のお願い			
他のクラブ との関係	同時配付 同時レク	(場所)	

担 当 (連絡先)	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 林産試験場 企業支援部普及調整グループ (担当：林) TEL：0166-75-4233 (内415) FAX：0166-75-3621		
--------------	---	--	--

【トドマツ】 Todo Fir



□トドマツ(椴松)は、
英語名ではTodo Pineではなく
Todo Firと表記するように
マツ科モミ属に分類される針葉樹です。

2015.10.5 MON - 10.11 SUN

丸の内北海道の樹トドマツに触れる 丸の内ハウス ライブラリー(新丸ビル7F)



北海道の森林に
最も多く生育する「トドマツ」
触れる1週間。



私たちの目指すもの

旭川は家具の産地として古くから有名ですが、従業者20名余りの家具メーカーから、一人で活動されている工房まで、大小様々な生産者があり、それを支える原木市、製材工場、教育機関、試験研究機関などが充実していることも特徴です。従来、家具やクラフトに使われる原料のほとんどが広葉樹であり、トドマツなど針葉樹を使った家具やクラフトは、ほぼ皆無でした。しかし、林業や製材業には「地場のトドマツを使ってほしい」との気持ちがあり、戦後に植林された人工林の樹木も太くなり、品質が安定してきたことから、業界に働きかけをしている最中です。

我々の最初の取り組みは、家具・クラフト用の乾燥原板を作ることと、その特性を知った上で徐々に商品化を図って行きたいと考えており、皆さまにトドマツを知っていただく活動を行う一方、作り手に実物を見せ、新たな素材としてのトドマツ材の可能性を理解の輪を広げてもらうことにも取り組んでいます。

10年後、トドマツを使った家具は当たり前になっているはずですが、針葉樹は、広葉樹に比べて傷つきやすい・強度が低いなどの難しさはありますが、やさしい感触・あたたかい質感などの良さもあります。

広葉樹と針葉樹、それぞれの良さを生かし、お客様の好みに応じた多様な商品展開ができるように努力し、同時にトドマツを育てる林業者、トドマツを挽く製材工場も、トドマツに自信を持って、より良い仕事ができるように努力を続けます。



上川地域水平連携協議会 会長

関口洋平

発行／上川地域水平連携協議会

麻生木材工業(株)・(株)芦野組・(株)いさみや
(株)カワムラ・(株)斉藤工業所・下川町森林組合
三津橋農産(株)・(株)山田木工場
事務局：(一社)北海道林産技術普及協会

後援／(地独)北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場
製作協力／(一社)北海道林産技術普及協会
旭川市工芸センター
(株)北海道ポットラック

編集／株式会社 ハギヤ
写真／DIGITAL DESIGN WORKS 加藤 亮、農場カメラマン 伊東 隼、
cinture写真 佐々木育弥、旭川市中央図書館
文章／勝浦恭子

丸の内ハウス

東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸ビル7階
営業時間11:00～翌4:00 (日・祝・連休最終日～23:00)
info 丸の内コールセンター 03-5218-5100
(受付時間11:00～21:00 日・祝・連休最終日～20:00)

www.marunouchi-house.com

www.facebook.com/marunouchiHOUSE



先着30名

OPENING 10.5 AM 11:00~

トドマツの幼木プレゼント

※クリスマスツリーに最適です。

DURING THE EVENT 10.5~10.11

トドマツ家具・雑貨・住環境の展示

10.10 SAT PM 12:00~

トドマツ蒸留アロマオイル抽出体験 (12:00~)

生のトドマツ枝葉から蒸気蒸留によってトドマツオイルを抽出する作業を体験していただきます。

トドマツオイルは森林浴効果以外にも、自動車の排気ガスや家庭でも発生するNO_x(二酸化窒素)を空気中で無害化し、低減させる効果があると言われています。



北海道の森の木 皮むき体験 (15:00~)

間伐されたばかりの生木(地域材の小径木)を昔ながらの木工具「削り馬」を使って、皮むきする作業を体験いただけます。

皮をむくことで、普段触れることのない生の木の感触を体感いただけます。



森のおはなし (16:00~)

北海道の森で働くプロフェッショナルが、トドマツの森を育てる知恵や、さまざまな山仕事、森に生きる野生動物の姿など、四季おりおりの映像とともに、ユーモアを交えてお話しします。講師/NPOもりねっと北海道 山本 牧 氏



親子で冬の間伐体験/伐り倒した間伐木は、自宅に飾って本物のクリスマスツリーにします
主催/NPOもりねっと北海道

上記、体験イベントは先着予約制で体験20名程度で締め切らせていただきます。
ご予約は上川地域水平連携協議会(Tel.0166-75-3553)までお電話にてお願いいたします。

Todo Fir

【トドマツ】



写真/昭和42年頃のトドマツ床替作業

北海道の木「トドマツ」

トドマツ(椴松)は英語名ではTodo pineではなくTodo Firと表記するようにマツ科モミ属に分類される針葉樹です。昭和40年代、林業者たちは北海道の木材を全国で存分に使えるようにと一生懸命に植え、手入れをして育ててきました。その努力が実り、トドマツが成熟期を迎える平成44年頃には、現在の2倍近い量のトドマツが北海道の森から木材として産出されます。北海道の木「トドマツ」の魅力を知っていただき暮らしの中に取り入れて愛していただくことが私たちの願いです。



昭和42年頃の冬山造材風景

トドマツ・チェア A

背もたれと座面に北海道産トドマツの無垢材を使用しています。トドマツならではの柔らかい質感を感じる座り心地と軽さが感じられるトドマツチェアです。



トドマツ・フローリング材「夢来(むく)」

北海道産トドマツの大径材を賢沢に使用した無垢材のフローリングです。トドマツ材は、他の樹種に比べ、柔らかく、床材などに使用した場合、足や腰への負担が少なく、転倒時のケガが少ないことや、直接触れた際の体感温度も他の木材より高いというデータも出ており、人の暮らしに優しい材質です。

Check!

北海道の雪をイメージさせる 白い木肌のトドマツ製品

新丸ビル7F
丸の内ハウスの
MUS MUSで
プロトタイプを
展示中!!

トドマツ・チェア B

座った時に体が触れる座面と背もたれにはトドマツを使用して、構造部分には硬い広葉樹を使用した全て北海道の木で作られたチェアです。



トドマツ・テーブル

天板全てが北海道産のトドマツで製作されたテーブルは、白い木肌がお料理を際立たせます。トドマツならではの柔らかい質感をいかしながら、傷がつきやすい緑の部分には、最新の技術で加工されたトドマツの圧密材を使用しており、傷がつきにくくなっています。



●本ページ掲載商品のお問い合わせは 〒078-8381 北海道旭川市西神楽1線10号
(一社)北海道林産技術普及協会内
上川地域水平連携協議会 Tel (0166) 75-3553
mail: rghk@juno.ocn.ne.jp



facebook やっています。 上川地域水平連携協議会

※読み込みにはQRコード読み込み用アプリが必要な場合があります。

未来への取り組み 上川地域水平連携協議会
平成21年度の協議会設立以来、上川地域の主要樹種であるトドマツ材の利用促進に向けて取り組んできました。その間、「夢来」ブランドの構造材、フローリング、家具の製作を行い、展示会での情報発信、木と暮らしの情報館での常設展示やホームページ等で普及啓発を図っています。
今後、北海道及び上川地域ではトドマツの利用可能な資源量が増大します。今までの利用方法と合わせて新たな利用の可能性を探りながら、トドマツの良さを提案し続けます。